

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年10月4日(2018.10.4)

【公開番号】特開2018-11303(P2018-11303A)

【公開日】平成30年1月18日(2018.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2018-002

【出願番号】特願2017-139280(P2017-139280)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

G 0 6 F 1/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 C

B 4 1 J 29/38 D

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 3 G 21/00 3 9 8

G 0 6 F 1/32 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月20日(2018.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

人を検知する検知手段及び操作者が操作する操作部を備え、前記検知手段により人が検知されたことに基づき所定のデバイスに電力を供給し、前記検知手段により人が検知されなくなったことに基づき前記所定のデバイスへの電力を停止する処理装置であって、

前記操作部が操作された場合、前記検知手段により人が検知されなくなっても前記所定のデバイスへの電力を停止せずに、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする処理装置。

【請求項 2】

前記操作部が操作された場合、前記検知手段により人が検知されていても、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする請求項 1 に記載の処理装置。

【請求項 3】

前記操作部は、所定のユーザ操作を受信する受信部を有し、

前記処理装置は、前記受信部によって受信された前記所定のユーザ操作に基づき前記所定のデバイスに電力を供給し、

前記受信部が前記所定のユーザ操作を受信した場合、前記検知手段により人が検知されなくなっても前記所定のデバイスへの電力を停止せずに、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の処理装置。

【請求項 4】

前記受信部は、省電力モードを解除するための省電力モード解除ボタンである、ことを特徴とする請求項 3 に記載の処理装置。

【請求項 5】

前記検知手段は、焦電センサである、ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 6】

前記検知手段は、赤外線を受信する赤外線センサである、ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 7】

前記検知手段は、赤外線を出力し、且つ、赤外線を受信する赤外線センサである、ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 8】

前記検知手段は、人の移動を検知する検知手段である、ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 9】

前記検知手段は、人の存在を検知する検知手段である、ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 10】

前記操作部は、表示部と、操作者の操作を受け付ける受付部と、を有する、ことを特徴とする請求項 1 乃至 9 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 11】

表示部をさらに備え、

前記所定のデバイスは、前記表示部である、ことを特徴とする請求項 1 乃至 9 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 12】

前記表示部は、液晶パネルである、ことを特徴とする請求項 11 に記載の処理装置。

【請求項 13】

プリントを実行するプリント部をさらに備える、ことを特徴とする請求項 1 乃至 12 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 14】

スキャンを実行するスキャナ部をさらに備える、ことを特徴とする請求項 1 乃至 13 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 15】

人を検知する検知手段及び操作者が操作する操作部を備え、前記検知手段の検知結果に基づき所定のデバイスへの電力の供給及び前記所定のデバイスへの電力を停止する処理装置であって、

前記操作部が操作された場合、前記検知手段の検知結果に基づき前記所定のデバイスへの電力を停止する機能を無効化して、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する機能により前記所定のデバイスへの電力を停止する、処理装置。

【請求項 16】

前記操作部が操作された場合、前記検知手段により人が検知されていても、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する機能により前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする請求項 15 に記載の処理装置。

【請求項 17】

前記操作部は、所定のユーザ操作を受信する受信部を有し、

前記処理装置は、前記受信部によって受信された前記所定のユーザ操作に基づき前記所定のデバイスに電力を供給し、

前記受信部が前記所定のユーザ操作を受信した場合、前記検知手段の検知結果に基づき前記所定のデバイスへの電力を停止する機能を無効化して、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する機能により前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする請求項 15 又は 16 に記載の処理装置。

【請求項 18】

前記受信部は、省電力モードを解除するための省電力モード解除ボタンである、ことを特徴とする請求項 17 に記載の処理装置。

【請求項 19】

前記検知手段は、焦電センサである、ことを特徴とする請求項 15 乃至 18 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 20】

前記検知手段は、赤外線を受信する赤外線センサである、ことを特徴とする請求項 15 乃至 19 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 21】

前記検知手段は、赤外線を出力し、且つ、赤外線を受信する赤外線センサである、ことを特徴とする請求項 15 乃至 19 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 22】

前記検知手段は、人の移動を検知する検知手段である、ことを特徴とする請求項 15 乃至 17 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 23】

前記検知手段は、人の存在を検知する検知手段である、ことを特徴とする請求項 15 乃至 17 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 24】

前記操作部は、表示部と、操作者の操作を受け付ける受付部と、を有する、ことを特徴とする請求項 15 乃至 23 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 25】

表示部をさらに備え、

前記所定のデバイスは、前記表示部である、ことを特徴とする請求項 15 乃至 23 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 26】

前記表示部は、液晶パネルである、ことを特徴とする請求項 25 に記載の処理装置。

【請求項 27】

プリントを実行するプリント部をさらに備える、ことを特徴とする請求項 15 乃至 26 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 28】

スキャンを実行するスキャナ部をさらに備える、ことを特徴とする請求項 15 乃至 27 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 29】

人を検知する検知手段及び操作者が操作する操作部を備え、前記検知手段により人が検知されたことに基づき所定のデバイスに電力を供給し、前記検知手段により人が検知されなくなったことに基づき前記所定のデバイスへの電力を停止する処理装置の電力制御方法であって、

前記操作部が操作された場合、前記検知手段により人が検知されなくなっても前記所定のデバイスへの電力を停止せずに、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする処理装置の電力制御方法。

【請求項 30】

前記操作部が操作された場合、前記検知手段により人が検知されていても、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする請求項 29 に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 31】

前記操作部は、所定のユーザ操作を受信する受信部を有し、

前記処理装置は、前記受信部によって受信された前記所定のユーザ操作に基づき前記所定のデバイスに電力を供給し、

前記受信部が前記所定のユーザ操作を受信した場合、前記検知手段により人が検知されなくなっても前記所定のデバイスへの電力を停止せずに、前記操作部の操作から所定時間

後に前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする請求項 29 又は 30 に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 32】

前記受信部は、省電力モードを解除するための省電力モード解除ボタンである、ことを特徴とする請求項 31 に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 33】

前記検知手段は、焦電センサである、ことを特徴とする請求項 29 乃至 31 の何れか 1 項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 34】

前記検知手段は、赤外線を受信する赤外線センサである、ことを特徴とする請求項 29 乃至 33 の何れか 1 項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 35】

前記検知手段は、赤外線を出力し、且つ、赤外線を受信する赤外線センサである、ことを特徴とする請求項 29 乃至 33 の何れか 1 項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 36】

前記検知手段は、人の移動を検知する検知手段である、ことを特徴とする請求項 29 乃至 31 の何れか 1 項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 37】

前記検知手段は、人の存在を検知する検知手段である、ことを特徴とする請求項 29 乃至 31 の何れか 1 項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 38】

前記操作部は、表示部と、操作者の操作を受け付ける受付部と、を有する、ことを特徴とする請求項 29 乃至 37 の何れか 1 項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 39】

表示部をさらに備え、

前記所定のデバイスは、前記表示部である、ことを特徴とする請求項 29 乃至 37 の何れか 1 項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 40】

前記表示部は、液晶パネルである、ことを特徴とする請求項 39 に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 41】

プリントを実行するプリント部をさらに備える、ことを特徴とする請求項 29 乃至 40 の何れか 1 項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 42】

スキャンを実行するスキャナ部をさらに備える、ことを特徴とする請求項 29 乃至 41 の何れか 1 項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 43】

人を検知する検知手段及び操作者が操作する操作部を備え、前記検知手段の検知結果に基づき所定のデバイスへの電力の供給及び前記所定のデバイスへの電力を停止する処理装置の電力制御方法であって、

前記操作部が操作された場合、前記検知手段の検知結果に基づき前記所定のデバイスへの電力を停止する機能を無効化して、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する機能により前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする処理装置の電力制御方法。

【請求項 44】

前記操作部が操作された場合、前記検知手段により人が検知されていても、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する機能により前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする請求項 43 に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項 45】

前記操作部は、所定のユーザ操作を受信する受信部を有し、

前記処理装置は、前記受信部によって受信された前記所定のユーザ操作に基づき前記所定のデバイスに電力を供給し、

前記受信部が前記所定のユーザ操作を受信した場合、前記検知手段の検知結果に基づき前記所定のデバイスへの電力を停止する機能を無効化して、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止する機能により前記所定のデバイスへの電力を停止する、ことを特徴とする請求項４３又は４４に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項４６】

前記受信部は、省電力モードを解除するための省電力モード解除ボタンである、ことを特徴とする請求項４５に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項４７】

前記検知手段は、焦電センサである、ことを特徴とする請求項４３乃至４５の何れか１項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項４８】

前記検知手段は、赤外線を受信する赤外線センサである、ことを特徴とする請求項４３乃至４７の何れか１項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項４９】

前記検知手段は、赤外線を出力し、且つ、赤外線を受信する赤外線センサである、ことを特徴とする請求項４３乃至４７の何れか１項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項５０】

前記検知手段は、人の移動を検知する検知手段である、ことを特徴とする請求項４３乃至４５の何れか１項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項５１】

前記検知手段は、人の存在を検知する検知手段である、ことを特徴とする請求項４３乃至４５の何れか１項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項５２】

前記操作部は、表示部と、操作者の操作を受け付ける受付部と、を有する、ことを特徴とする請求項４３乃至５１の何れか１項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項５３】

表示部をさらに備え、

前記所定のデバイスは、前記表示部である、ことを特徴とする請求項４３乃至５１の何れか１項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項５４】

前記表示部は、液晶パネルである、ことを特徴とする請求項５３に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項５５】

プリントを実行するプリント部をさらに備える、ことを特徴とする請求項４３乃至５４の何れか１項に記載の処理装置の電力制御方法。

【請求項５６】

スキャンを実行するスキャナ部をさらに備える、ことを特徴とする請求項４３乃至５５の何れか１項に記載の処理装置の電力制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記目的を達成する本発明の処理装置は、人を検知する検知手段及び操作者が操作する操作部を備え、前記検知手段により人が検知されたことに基づき所定のデバイスに電力を供給し、前記検知手段により人が検知されなくなったことに基づき前記所定のデバイスへ

の電力を停止する処理装置であって、前記操作部が操作された場合、前記検知手段により人が検知されなくても前記所定のデバイスへの電力を停止せずに、前記操作部の操作から所定時間後に前記所定のデバイスへの電力を停止することを特徴とする。